

令和3年度 2学期始業式 式辞

令和3年度 2学期始業式

令和3年8月25日(水)
安芸太田町立加計小学校

皆さん、おはようございます。35日間の夏休みが終わりました。元気に過ごせましたか。8月に入って、大きな台風が来ました。そのあと、大雨が続いて広島県も大きな被害が出ました。皆さんの中には、安全な場所に避難した人もいることでしょう。こうして皆さんが学校に来てくれてとても嬉しく、ありがたく思います。

さて、今日から2学期です。どんなことをがんばろうかなと考えていることでしょう。このあと、それぞれの学級で先生やお友達と一緒に考えてください。私から2学期の皆さんに期待することを1つお話します。



今日のお話のテーマは「涙」です。

皆さんはどんなときに「涙」が出ますか？

「悲しい時」「嬉しい時」「悔しい時」「感動した時」・・・涙はいろいろな気持ちの時にあります。できれば「悲しい涙」を流すのは少ないほうがいいですね。

今日「涙」の話をしようと思ったわけは「東京オリンピック」にあります。オリンピックのテレビ放送など、見た人もたくさんいるのではない

でしょうか。私も家でたくさんオリンピックの試合を見て応援しました。長年の努力が実って「金メダル」をはじめ良い成績が残せた人がいます。その人達は、最高の笑顔と嬉しい涙を浮かべていました。見ている私も幸せな気持ちになりました。頑張った人を傍で見るだけで、こんなにうれしいものなのかと思いますし、一緒に感動してもらい泣きしてしまったこともありました。これは「嬉しい涙」「感動の涙」です。この涙は何度でも、たくさん流したいですね。

一方で、たくさん選手の「悔しい涙」も見ました。4年に1度のチャンス。目標を立て、つらい練習を重ねて本番に臨みましたが、目指していた結果にならなかった—そのときの悔しい気持ちがあふれたときに流れる涙です。今年テレビでたくさん涙を見ながら、この「悔しい涙」に私は一番感動してしまいました。もちろん、いい結果になれば言うことなしますが、人生そんなにいつもいい結果ばかりではありません。1回うまくいくためには10回は失敗するものです。一生懸命がんばったから絶対にうまくいくという保証はありません。だからこそ「悔しい涙」が出てくるということは大きな意味があります。一生懸命がんばったからこそ「悔しい」のです。適当にやっていたり、手を抜いていたたりしているときは「悔しい」とは思いません。

2学期、加計小学校の皆さんに期待するのは「悔し涙が流せるくらい何かに一生懸命になってほしい」ということです。それくらい何かに全力で挑戦してほしいと思います。私をはじめ先生方はそんな皆さんの挑戦を全力で応援します。



「気づいて 考えて やってみる！」今年のテーマは「自分で」でしたね。これを見てください。以前加計小学校にお勤めされていた佐々木校長先生が加計小学校の皆さんにと、先日学校に持って来てくださいました。まさに、今年みんなががんばろうとしていることへのヒントだと思います。校舎のとある場所に飾っておきますから、探してみてくださいね。

最後に、新型コロナウイルス感染症にかかる人が広島県でも増えています。これまでみんなで気を付けてきたことをもう一度教室で確かめてください。一人一人が元気に過ごせるようにどうしたらいいの

気づいて考えて
やってみる!

自分を大切に
人を大切に 力を合わせて

かを「考えて」「行動して」いきましょう。もし、私たちの近くでこの病気になってしまった人がいたとしたら、一日も早く元気になることを祈って、心の中で応援することにしましょう。決して「〇〇さんがコロナにかかったみたいだよ」という噂話をしてその人や家族を傷つけることがないように。これは「人を大切に 自分を大切に 力を合わせて」につながります。

今日、校舎に入って、夏休みの間に変わったところに気づいた人もいるでしょうね。

2階の図書室、図書コーナーが新しく変身中です。廊下などの床がピカピカになっていますよ。窓ガラスもきれいに磨かれました。皆さんの学校生活が豊かになるようにいろいろな人のおかげで2学期が始まります。そのことに感謝しながら生活していきましょう。121人で一緒にがんばりましょう。

令和3年8月25日

加計小学校長 萩原英子

